

ポーランドの至宝

レンブラントと
珠玉の王室コレクション



Treasures of Poland

「プレイエル・グランド・ピアノ」 特別コンサート

日時：2010年9月22日(水) 15:00~16:00

会場：東京富士美術館 シアター

出演：飛松利子(ピアノ)

内容：民音音楽博物館より、特別出品していただいた「プレイエル・グランド・ピアノ」による、特別コンサート！
2回目の今回は、本年7月にもショパンの特別リサイタルを開いた、実力派ピアニスト・飛松利子が、
ショパン名曲を奏でます。ショパンの愛したピアノの音色をごゆっくりご堪能ください！

曲目：ショパン/ノクターン op.9-2 変ホ長調、マズルカ op.68-2 イ短調、幻想即興曲 op.66 嬰ハ短調、
アンダンテスピナートと華麗なる大ポロネーズ op.22 変ホ長調、スケルツォ 第2番 op.31 変口短調

飛松利子(ピアノ) とびまつ●としこ

桐朋学園大学音楽学部、ウィーン国立音楽大学ピアノ科卒業。
クロード・カーン国際ピアノコンクール(パリ)第4位。パルマドー
ロ国際コンクール(イタリア)Vn&Pfデュオ部門、ピアノ部門にて各々
第2位(1位なし)と課題曲最優秀賞受賞。NHK-FM「春に巣立つ新人
たち」名曲リサイタル、軽井沢音楽祭、日欧修交140周年記念として、
ウィーン・ベーゼンドルファーザールにて催された「返子・ウィーン
友情コンサート」等出演。'09.10月やまなし県民文化祭音楽祭にて、
大久保良明氏と共演し、今年度から設置された“共演者賞”受賞。
ソロ及びリサイタル、コンクール等アンサンブルピアニストとして
活躍している。館美佐子、三浦みどり、R.ケラー、M.フッシ、M.プリ
ンツ各氏に師事。軽井沢サマーミュージックスクール、鎌倉市民混声
合唱団ピアニスト。



プレイエル・グランド・ピアノ (プレイエル社 1845年製)

このピアノは、ショパンが所有していた最後のピアノと同型のもので、ショパンが実際に愛した音色を聴くことができる、とても貴重なピアノです。特にピアノ本体に記された「虎斑(とらふ)状」の模様は珍しく、当時の美しい調度芸術作品でもあります。製作年代の1845年は、ショパンは35歳。女流作家ジョルジュ・サンドとの愛を育みつつ、短い年月にスケルツォやポロネーズなどの「晩年」の最高傑作群を次々と生み出しつつありました。